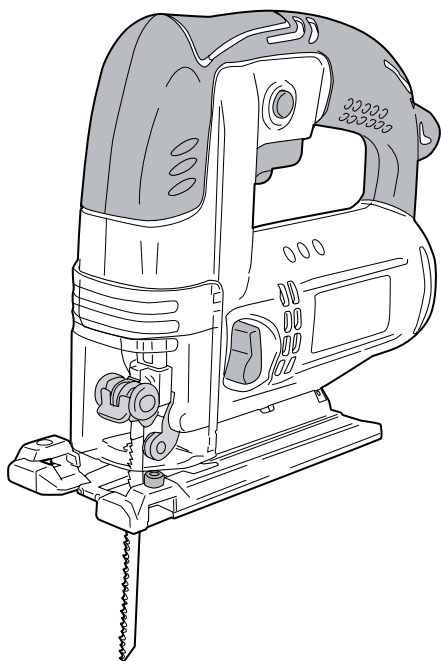


# RYOBI

# ジグソー

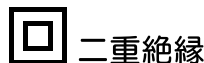
## J-650VDL

# 取扱説明書



## もくじ

■安全上のご注意	1～6
■各部の名称	6
■仕様・付属品	7
■用途・別販売品	7
■ご使用前の準備	8
■使い方	9～14
■いろいろな切断作業	15～17
■保守と点検	18



このたびは、リョービ ジグソーをお買い上げいただきありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、  
本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう  
お願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

# 安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
  - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
    - △警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
    - △注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「（注）」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
  - 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

## 警告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
  - ・作業場は十分に明るくしてください。
  - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
  - ・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
  - ・作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。

# 警告

6. 無理して使用しないでください。
  - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
  - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
  - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
  - ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
  - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
  - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
  - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
  - ・電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
  - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
13. 加工するものをしっかりと固定してください。
  - ・加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
  - ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
  - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

# 警告

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  - ・使用しない、または修理する場合。
  - ・刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
  - ・その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
  - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
  - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
  - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
20. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
  - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - ・常識を働かせてください。
  - ・疲れている場合は、使用しないでください。
21. 損傷した部品がないか点検してください。
  - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
  - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。  
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
  - ・スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
  - ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
  - ・この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

# 警告

23. 電動工具の修理は、専門家に依頼してください。

- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

## 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

## 二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

## ジグソーご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、ジグソーをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

### 警告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 使用中は、本体を確実に保持してください。
  - ・確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
3. 使用中はブレードや切り屑に手や顔などを近づけないでください。
  - ・けがの原因になります。
4. 使用中、ブレードが電線管・水道管やガス管などの埋設物に触れると感電やガス漏れなどの恐れがあります。使用前に埋設物がないかどうか十分確認してください。
  - ・埋設物に触れると事故の原因になります。
5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ブレードや本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
6. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
  - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。

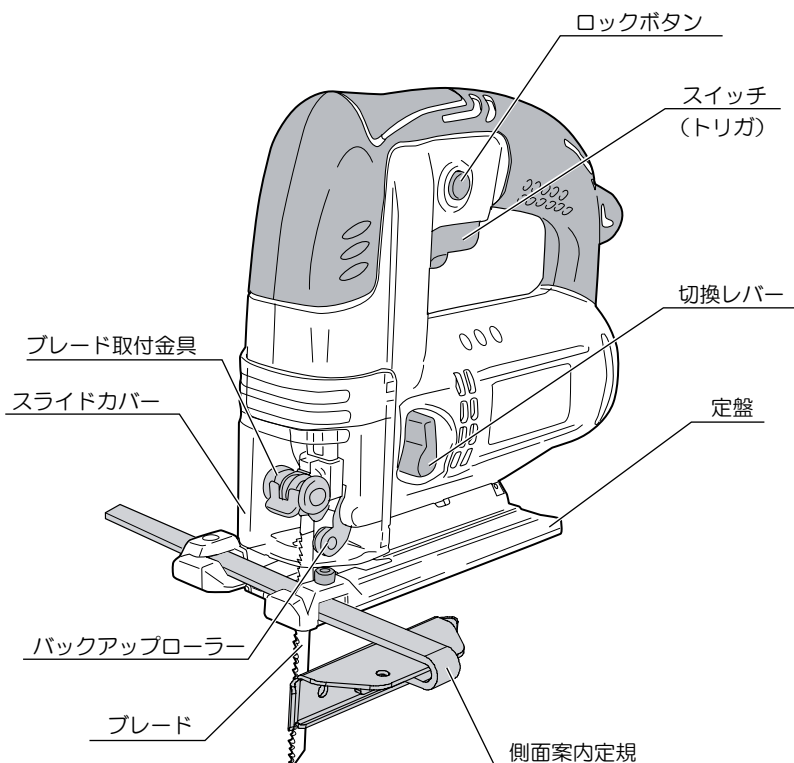
### 注意

1. ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
  - ・確実にないと、外れたり、けがの原因になります。
2. ブレードの交換は手袋・ウエスなどで手を保護してから行なってください。
  - ・けがの原因になります。
3. 作業直後のブレード、材料、切り屑などは非常に熱くなっているので、触れないでください。
  - ・やけどの原因になります。
4. ブレードでコードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  - ・感電の原因になります。

# ⚠ 注意

5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ張ったり、引っかけたりしないようにしてください。
  - ・材料や機体など落としたときなど、事故の原因になります。
6. 本体を作動させたまま床などに放置しないでください。
  - ・けがの原因になります。

## 各部の名称



# 仕様・付属品・用途・別販売品

## ●仕様

- ・電源 ..... 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・定格電流 ..... 4.5A
- ・消費電力 ..... 430W
- ・無負荷ストローク数 ..... 0~3,000min<sup>-1</sup>
- ・ストローク量 ..... 20mm
- ・最大切断能力（厚さ）
  - 木材 ..... 65mm
  - 軟鋼板 ..... 6mm
- ・機体寸法（長さ×幅×高さ） ..... 205×67×173mm
- ・質量 ..... 1.8kg
- ・コード長さ ..... 2m
- ・絶縁方式 ..... 二重絶縁
- ・振動3軸合成値※：EN60745-2-11に基づき測定
  - 木材 ..... 3.5m/s<sup>2</sup>
  - 軟鋼材 ..... 5.5m/s<sup>2</sup>

※『3軸合成値の取扱い』については、日本電機工業会のウェブサイトで紹介しておりますのでご参照ください。

<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>

## ●付属品

- ・シグソーブレード No.32 ..... 1
- ・シグソーブレード No.33 ..... 1
- ・シグソーブレード No.39 ..... 1
- ・刃口板 ..... 1
- ・六角棒レンチ（3mm コード部に取付け） ..... 1
- ・側面案内定規 ..... 1
- ・ガイドピン ..... 1
- ・定盤カバー ..... 1

## ●用途

- ・各種木材、合成樹脂板、軟鋼板等の直線、曲線切断

## ●別販売品

- ・集じんホース（外径30-38mm×2.5m）
- ・各種ブレード（14ページ参照）



# ご使用前の準備

## ●作業場に関して

- ・作業場は整頓をし、明るくしてご使用ください。

## ●漏電しゃ断器設置のおすすめ

- ・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

## ●延長コードを使う場合

### ⚠ 警告

- ・延長コードは損傷のないものを用意してください。

- ・電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。

右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ	最大の長さ
0.75mm <sup>2</sup>	20m
1.25mm <sup>2</sup>	30m
2.0mm <sup>2</sup>	50m

# 使い方

## ●スイッチの扱い方

### ⚠ 警告

- ・電源を入れる前に調整用の六角棒レンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。工具類が飛び、けがの原因になります。
- ・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- ・スイッチを入れる前に近くに人がいないことを確認し、本体をしっかり持ってください。ブレードなどの可動部には手や顔などを近づけないでください。けがや事故の原因になります。

- ・スイッチはトリガ（引き金）方式です。  
トリガを引くとスイッチが入り、放すと切れます。

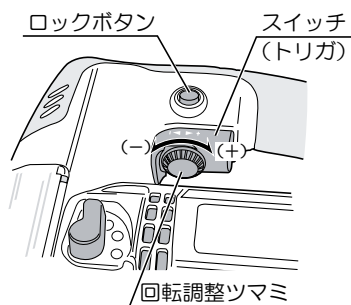
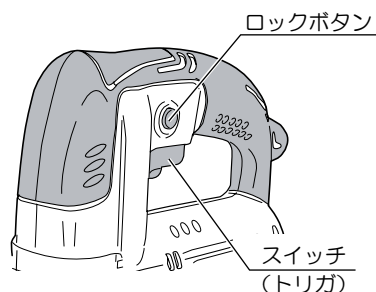
#### （連続運転する場合）

- ・トリガをいっばいに引いた状態でロックボタンを押込みます。ロックボタンを押込んだまま、トリガから指を放すと、トリガが固定され連続運転になります。
- ・再度トリガを引くと固定が解除され、指を放すとスイッチが切れます。

（注）ロックボタンは、最高速（トリガをいっばいに引いた状態）のみでロック可能です。

#### （ストローク数の調整）

- ・回転調整ツマミを（-）側に回すとストローク速度が遅くなり、（+）側に回すとストローク速度が速くなります。（+）側に止まるまで回した場合は、トリガの引き具合によりストローク数は0～3,000min<sup>-1</sup>の範囲で調整できます。

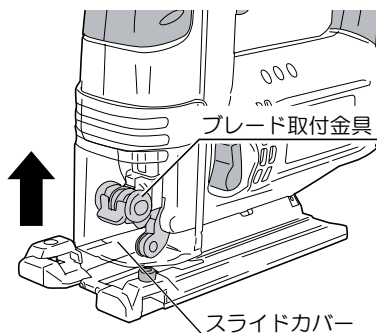


## ●ブレードの取付け

### ⚠ 警告

- ・ブレードの取付け、取外しのときは、スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ブレードは下記説明に従って確実に取付けてください。

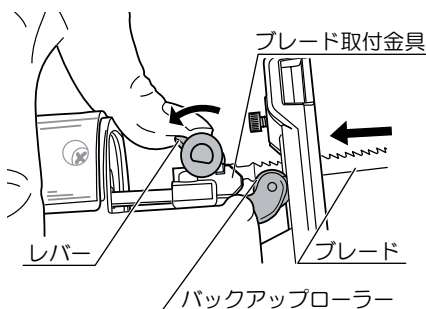
- ① スライドカバーを上方に引上げます。



- ② ブレード取付金具のレバーを回した状態でブレード背面をバックアップローラーのV溝に沿わせながら、ブレード取付金具の溝に奥までさし込みます。

- ③ ブレード取付金具のレバーを放し、ブレード背面とブレード取付金具の間に隙間がないことを確認します。

(注) バックアップローラーのV溝にブレード背面がきれいに入っていることを確認してください。

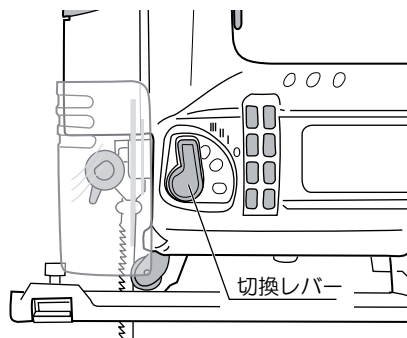


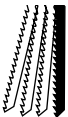
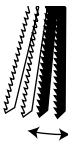
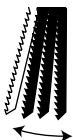
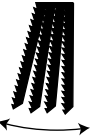
- ④ 取外しはブレード取付金具のレバーを回した状態で、ブレードを引抜きます。

# 使い方

## ● オビタル量の調整方法と目安表

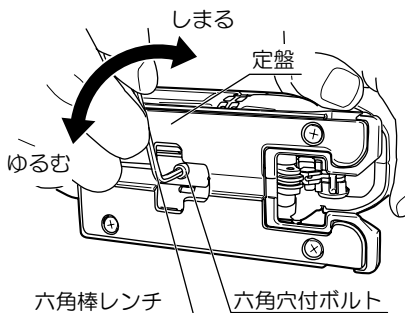
- ・ ブレードをオビタル運動（上下+前後運動）させることによりスムーズな切断ができます。
- ・ ブレード取付部横の切換レバーを動かすことにより、0（上下）→Ⅰ→Ⅱ→Ⅲの順で、オビタル量が大きくなります。
- ・ オビタル量は、切断する材料が硬くなる程小さくしてください。また、きれいな仕上がりにしたい場合は、木材などでもオビタル量を小さくします。



<h3>切換レバー位置「0」</h3>  <p>軟鋼板など硬い金属の切断や 木材の仕上切断。 ナイフブレードでの切断。 小さなカーブの曲線切断。</p>	<h3>切換レバー位置「Ⅰ」</h3>  <p>アルミ、非鉄金属などやや柔らかい金属の切断や、硬い木材、ベニヤ、プラスチックなどの切断。</p>
<h3>切換レバー位置「Ⅱ」</h3>  <p>やや柔らかい材料の切断。 通常木材、軟質非鉄金属、プラスチックなどの切断。</p>	<h3>切換レバー位置「Ⅲ」</h3>  <p>柔らかい材料の切断。 木材、プラスチックなどの高速切断。</p>

## ●定盤の調整

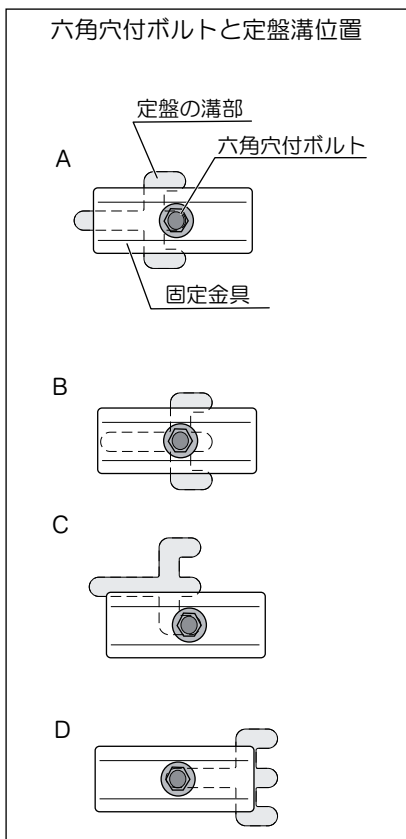
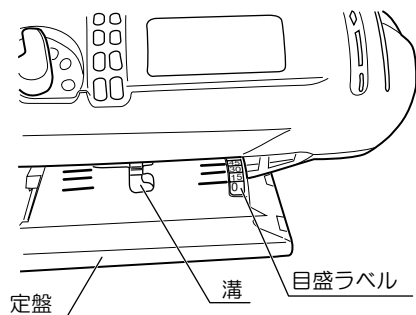
- 定盤を傾斜させることにより、左右に0°~45°までの傾斜切断ができます。
- 定盤を傾斜させるには
  - 定盤裏側の六角穴付ボルトを付属品の六角棒レンチでゆるめます。
  - 定盤を少し後ろに動かし、六角穴付ボルトが図Bの位置にくるようにします。
  - 定盤を動かし、必要な角度に調節した後、六角穴付ボルトを締付けて固定します。
  - 左右の45°傾斜の場合には、定盤を傾斜させた後に、後方に戻して図Cの位置で固定してください。



図D位置にした場合は、定盤が本体の前面と同じ位置になり、0°傾斜で壁などの近くまで切断できます。

(注)

- 図A (通常の直角切断) 位置以外では刃口板 (13ページ参照) は使用できません。
- 左右に定盤を傾斜させる場合、スライドカバーが定盤に当たりますので、スライドカバーを上げて使用してください。
- 傾斜角度は、定盤の目盛ラベルを目安にして調整してください。



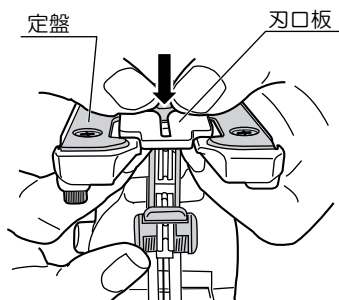
# 使い方

## ●刃口板の取付け、取外し

- ・ベニヤ板や極薄い材料など、ささくれやバリが出やすい材料を切断する場合には、定盤に刃口板を取付け、送り速度を遅くすることで、ささくれやバリの少ない加工ができます。
- ・刃口板の取付けは定盤裏側から、刃口板を定盤にあわせ軽く押さえて取付けます。

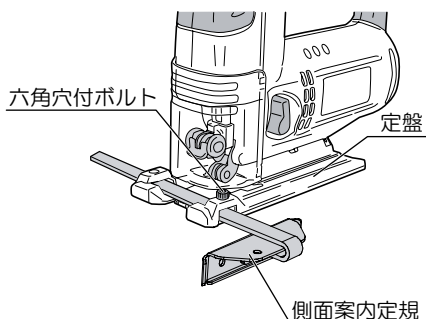
(注) 刃口板中央溝の面取りしてある面を本体側にして取付けます。

(注) この場合、傾斜切断および定盤を後方に動かしての切断はできません。



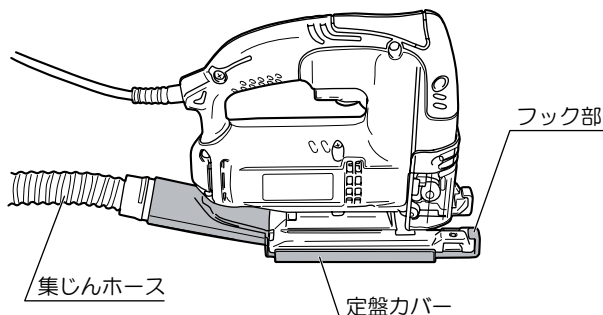
## ●側面案内定規の利用

- ・一定幅に切断をくり返す定寸切断や、円弧の切断には、側面案内定規を利用すると便利です。
- ・側面案内定規の取付けは、六角穴付ボルトを付属品の六角棒レンチでゆるめ、定盤の取付穴に側面案内定規の足を通して六角穴付ボルトで固定します。
- ・円弧切断の場合は、側面案内定規を裏返して取付け、付属品のガイドピンまたは木ネジなどで位置決めをします。(17ページ参照)



## ●定盤カバーと集じんホース（別販売品）

- ・付属品の定盤カバーを使用すれば、化粧板や軟質の材料の表面にキズがつきにくくなります。
- ・定盤カバーは、フック部を定盤の前部にかけてから、後ろを持上げて取付けます。
- ・別販売品の集じんホースで、定盤カバーと集じん機を接続してほこりの少ない作業が行なえます。



## ●各種ブレード（別販売品）

※標記している切断能力は刃物の能力です。実際の切断能力と異なります。

用途・特長		切断能力*(mm)					全長 (mm)	山数 (1インチ当り)	刃渡り (mm)	商品名 形状・材質
		木材合板	合成樹脂	非鉄金属	軟鋼板	ステンレス				
木工・ 新建材・ アルミ	木工高速切断・荒切用目立刃 高速切断に最適	5~50					100	6	75	No.35 (SK 材) 
	木工仕上用目立刃(長刃) 長刃で厚物材料も切断、 バックテーパータイプで きれいな切断面	3~65					116	9	90	No.39 (SK 材) 
	新建材用 バックテーパータイプで きれいな切断面	2~50	2~50	3~10			100	12	75	No.32 (SKH 材) 
	木工円切仕上用目立刃 バックテーパータイプで きれいな切断面	2~25	2~25				76	16	45	No.73 (SK 材) 
鉄工・ ステンレス	鉄工用(長刃) 長刃でパイプ・アングル 等の切断に最適		3~10	3~10	3~6		132	14	106	No.34 (SKH 材) 
	鉄工用 軟鋼板 1.5~3.0mm の 切断に		1.5~6	1.5~6	1.5~3		76	24	51	No.33 (SKH 材) 
	鉄工・ステンレス用 パイメタルで折れにくく長寿命 軟鋼板 1.5~3.0mm、 ステンレス 1.0~2.0mm の切断に		1.5~6	1.5~6	1.5~3	1~2	76	24	54	No.74 (パイメタル) 
	鉄工・ステンレス用 パイメタルで折れにくく長寿命 軟鋼板 0.5~2.0mm、ガルバリ ウム、軽天材やステンレス 0.5~ 1.0mm などの薄物の切断に		1~3	1~3	0.5~2	0.5~1	76	32	54	No.75 (パイメタル) 
ナイフブレード ダンボール、発砲スチロール、カーペット 等、軟らかい材料の切断に最適	ゴム 10mm 以下 ダンボール 30mm 以下 発砲スチロール 50mm 以下					100	-	75	No.36 (SK 材) 	

# いろいろな切断作業

## ⚠ 警告

- ・加工する物をしっかりと固定してください。加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ・作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に確かめてください。埋設物があると、ブレードが触れ、感電や漏電、ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ・切断時は切粉が飛散するので、必ず保護めがねを使用してください。
- ・使用中は、ブレードや切粉の排出部に手や顔を近づけないでください。けがの原因になります。

## ⚠ 注意

- ・ブレードでコードを切断しないよう注意してください。感電の恐れがあります。

(注) 切断中無理に押しつけたり、切断中にこじったりしますと機械各部の故障の原因になります。無理に切断しないでください。

- ・切断材料、作業条件に適したブレードを使用し、材料に合った送り速度、回転数で作業してください。

一般的に、木材など軟らかい材料の切断や直線切りには高速回転、樹脂・金属や小さい円弧などの複雑な形状の切断には中、低速回転が適しています。

(注) ブレードの種類と用途については各種ブレード（別販売品）の項を参考にしてください。

- ・定盤を加工材に密着させ、ブレードが加工材に触れない位置で切断線に合わせた後、スイッチを入れます。回転数が上がりましたら、ゆっくりと切り始めます。

(注) 切断前に定盤の傾斜が必要な角度になっているか確認してください。

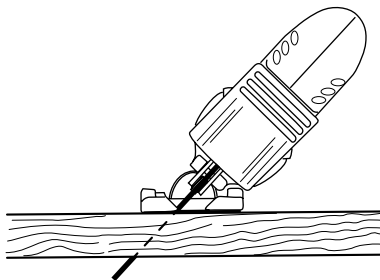
(注) 切り始めに、急にブレードを材料に当てますと、ブレードが折れる場合があります。

(注) 使用後はスイッチを切り、ブレードの動きが完全に止まってから、下に置いてください。

## ● 傾斜切断

- ・定盤を傾斜させ、材料を斜めに切ります。この時、機械は倒れやすくなります。定盤が、切断材料に密着するように注意しながら切断してください。

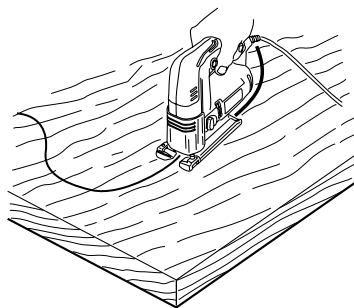
(12ページ参照)





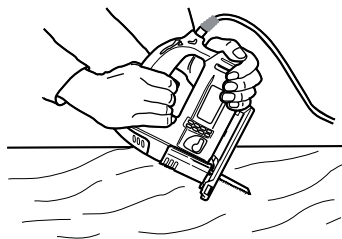
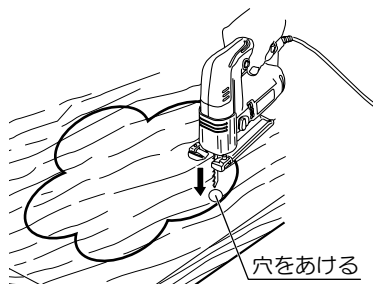
## ●曲線切断

- ・小さな円弧など複雑な形状の切断をする場合には、送り速度および回転数を遅くすれば、切断線に沿っての加工がしやすくなります。



## ●切抜き切断

- ・切抜き部にドリルでブレードが入る大きさの穴をあけ、切断を始めます。
- ・薄い木材の切抜き切断の場合、定盤の先端を材料に当ててスイッチを入れ、ブレードをゆっくり加工材に当てて切込んでいくと、切口を作ることができます。



## ●金属切断

- ・金属の切断時には、ブレードおよび切断部に少量の切削油などを塗りますときれいに切断でき、ブレードも長持ちします。

## ●ささくれの出やすい材料の切断

- ・ベニヤ板や極薄い材料など、ささくれやバリの出やすい材料を切断する場合には、付属品の刃口板を使用し、送り速度をゆっくりすれば、ささくれ、バリの少ない加工ができます。

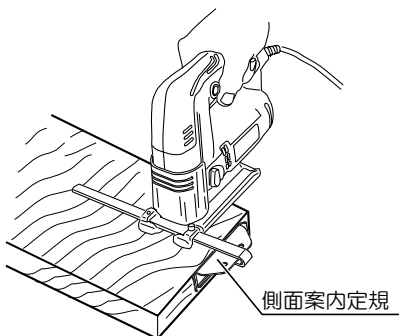
(13ページ参照)

# いろいろな切断作業

## ●側面案内定規の利用

(定寸切断)

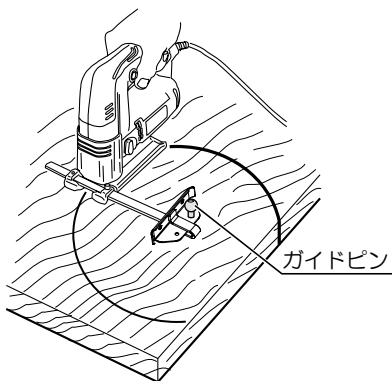
- ・一定幅の切断をくり返す場合は、側面案内定規を利用すると便利です。
- ・側面案内定規の取付けは、案内定規締付用の六角穴付ボルトをゆるめ、取付穴に側面案内定規の足を通して、六角穴付ボルトで固定します。



(円弧切断)

- ・側面案内定規を裏返し、定規の穴を付属品のガイドピンまたは木ネジなどで位置決めをする事により、円弧切断ができます。

(13ページ参照)



# 保守と点検

## 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

### ●各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

### ●使用後の手入れ

- ・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

### ●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところは避けてください。

### ●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、  
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。



**RYOBI**

発売元

**リョービ販売株式会社**

本社 〒468-8512

名古屋市天白区久方1-145-1

TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141

<http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>